

肺がん、肝臓がん、食道がんに対して重粒子線治療を受けた皆様へ

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

量子科学技術研究開発機構QST病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 胸部重粒子線治療における心臓イベント発生に関する後向き研究

[研究実施期間] 許可日～2026年03月31日

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 若月 優

[研究の目的] 胸部（上腹部）に対して重粒子線治療を施行がされたがん患者（肺がん・肝臓がん・食道がんなど）における、心臓照射線量と放射線関連心臓障害の発生リスクの関連を解析することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺がん・肝臓がん・食道がんの患者さんで、1994年4月から2021年3月までに重粒子線治療のために入院及び通院された方

●利用する診療情報

2021年9月末までに得られた臨床データ。

2021年9月末までに得られたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計しますの
で、新たな質問や検査の必要はありません。

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報が表に出ることはありません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います）**この研究にご自分の診療情報を使ってほしくない方、またはそのご家族など代理の方**

は、2022年3月31日までに右記窓口にお申し出ください。（この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなる可能性があります。）この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 若月優

電話；043-206-3306

平日；8：30～17：00

